

# 大阪湾漁場環境速報

2022年 4月 6日発行  
兵庫のり研究所

海域全般に、小型珪藻のスケルトネマを主体としてキートセロス等数種の珪藻が、海域毎に発生量に大小はありますが確認されました。明石海峡部等を除き、全域において表層の栄養塩（窒素・リンとも）は著しく低い値でした。

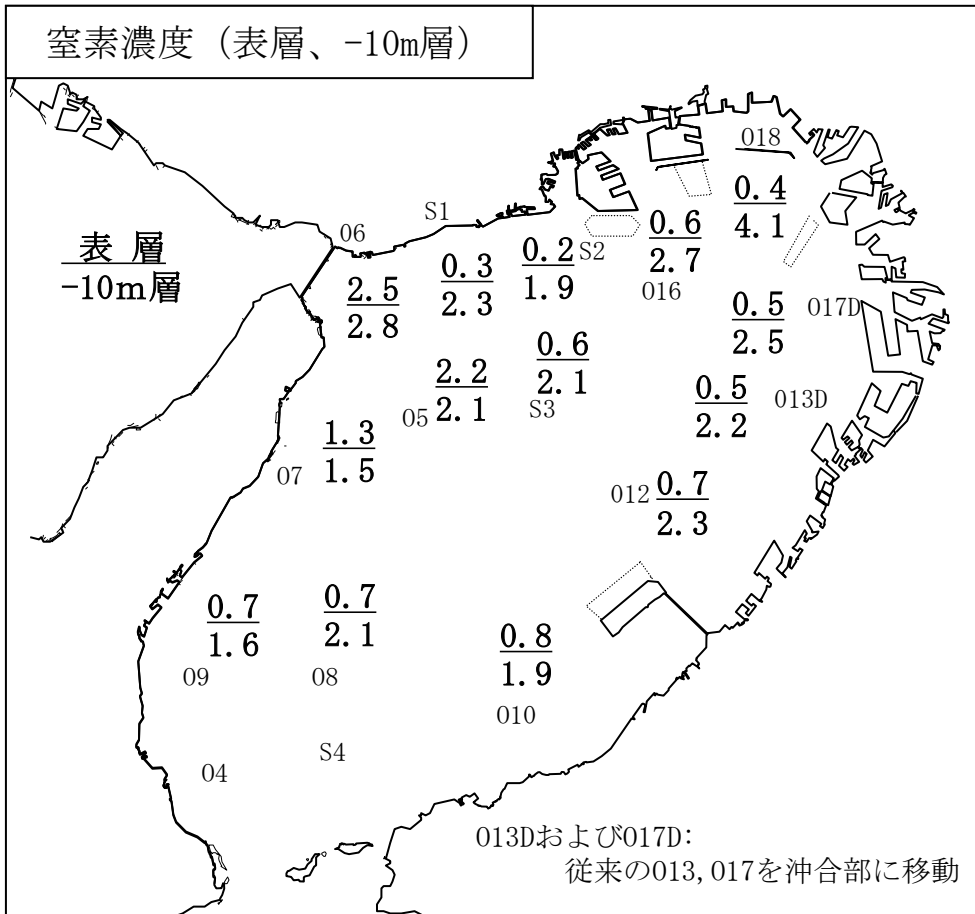
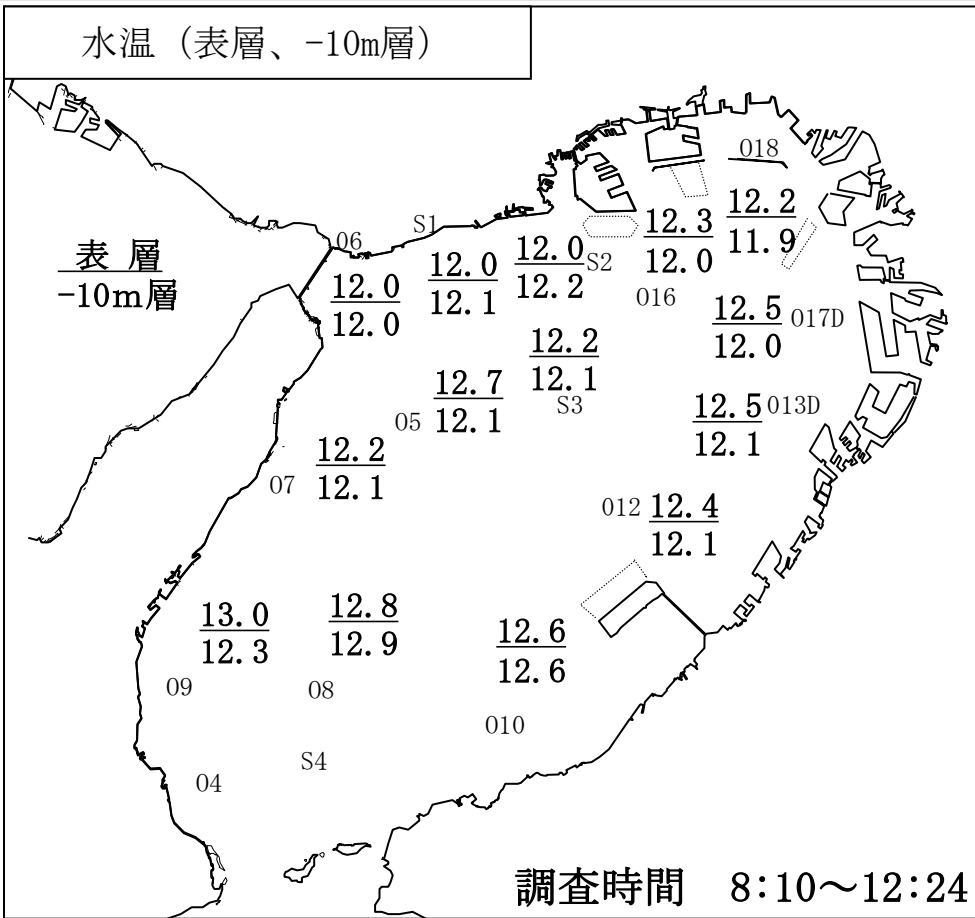
**(水温)** 表層は湾内12~13℃台で平均12.4℃。平年並み。-10m層は平均12.2℃（ほぼ平年並み）。

**(塩分)** 表層平均32.05psu(平年 31.15)。-10m層平均32.51psu(平年 32.18)。

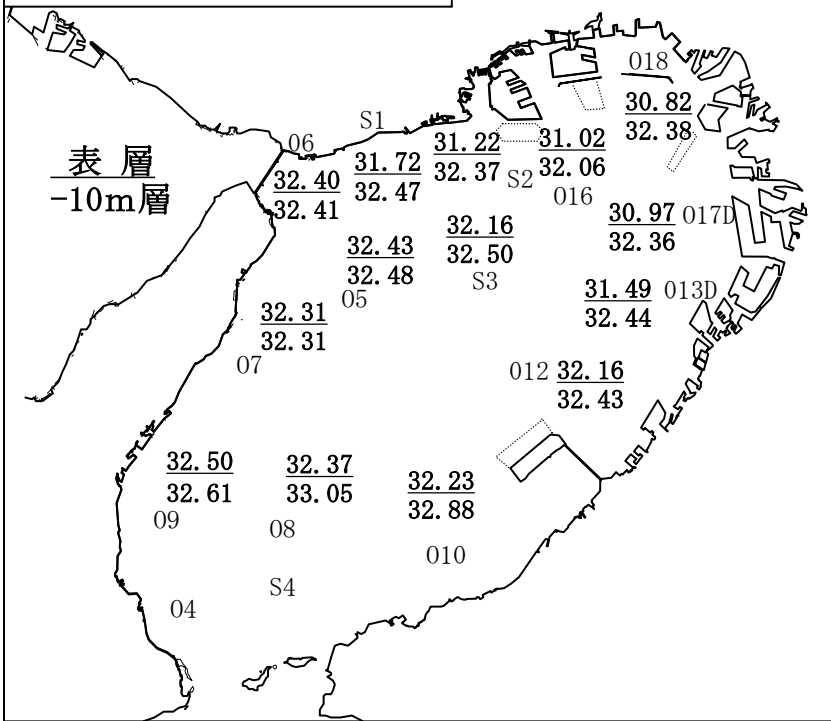
**(栄養塩、他)** 表層の窒素は平均1.0μg-at/L、リンは平均0.09μg-at/L。-10m層(平均)は、窒素2.1μg-at/L、リン0.22μg-at/L。今回調査では、湾中央部において陸水の影響があまり見られず、平年と比較して塩分は著しく高く、栄養塩（窒素・リン）は低い値となっていた。明石海峡部等を除き、全域で小型珪藻のスケルトネマ等がかなり多く確認され、神戸地先と関西空港周辺では、発生量がかかなり多く強い赤潮（海水の着色）として見られた。栄養塩はこれらの珪藻類により、表層で著しく低い値となっていた。

上段 (今回値)	2022年 4月 5日調査
中段 (昨年値)	2021年 4月 8日調査
下段 (平年値)	4月上旬

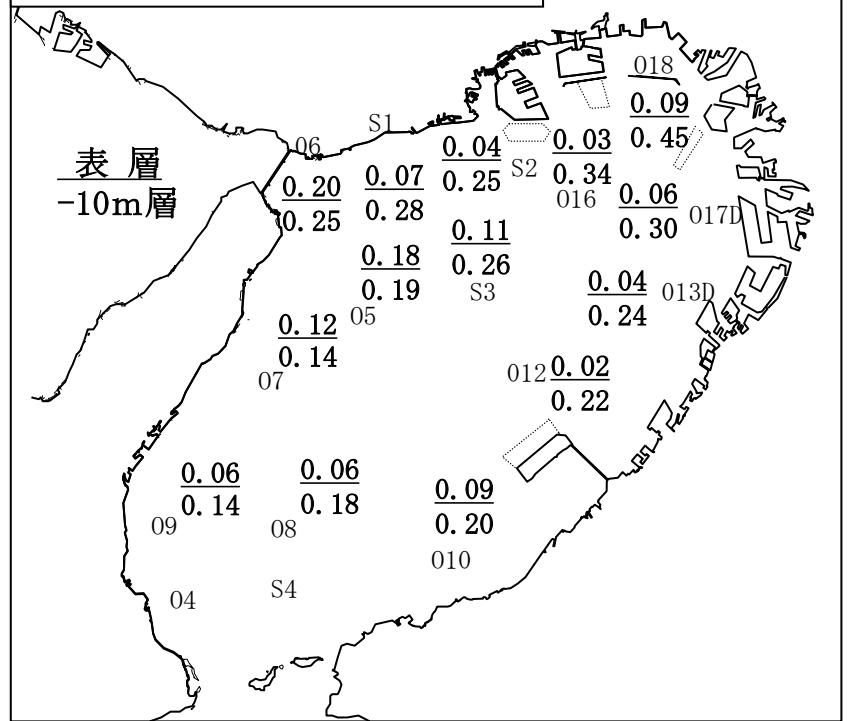
調査地点	水温 (°C)	塩分 (psu)	三態窒素 (μg-at/L)	磷酸 (μg-at/L)
04				
05	12.7	32.43	2.2	0.18
	14.0	31.96	0.2	0.08
06	12.3	32.06	2.0	0.21
	12.0	32.40	2.5	0.20
07	13.1	32.37	1.9	0.27
	12.1	31.31	3.1	0.22
08	12.2	32.31	1.3	0.12
	13.8	31.55	0.2	0.04
09	12.5	31.84	1.5	0.17
	12.8	32.37	0.7	0.06
10	13.5	31.99	0.1	0.04
	12.7	31.94	0.8	0.12
12	13.0	32.50	0.7	0.06
	13.4	31.92	0.0	0.04
13D	12.8	32.02	0.9	0.13
	12.6	32.23	0.8	0.09
16	13.7	31.26	0.1	0.03
	12.5	31.39	0.7	0.08
17D	12.4	32.16	0.7	0.02
	13.7	30.60	0.2	0.02
18	12.6	30.32	1.4	0.07
	12.5	31.49	0.5	0.04
S1	13.8	30.34	0.1	0.05
	12.4	29.79	1.8	0.08
S2	12.3	31.02	0.6	0.03
	13.6	30.40	0.1	0.03
S3	12.4	28.99	4.2	0.09
	12.5	30.97	0.5	0.06
S4	13.9	28.78	16.8	0.26
	12.6	28.24	14.5	0.22
013D	12.2	30.82	0.4	0.09
	13.8	27.33	10.2	0.50
017D	13.0	23.16	21.7	0.30
	12.0	31.72	0.3	0.07
018	13.2	32.27	0.9	0.18
	12.2	30.96	3.1	0.14
S1	12.0	31.22	0.2	0.04
	13.7	31.01	0.3	0.03
S2	12.2	30.07	2.0	0.07
	12.2	32.16	0.6	0.11
S3	13.4	31.93	0.4	0.06
	12.2	31.76	1.2	0.14
S4				



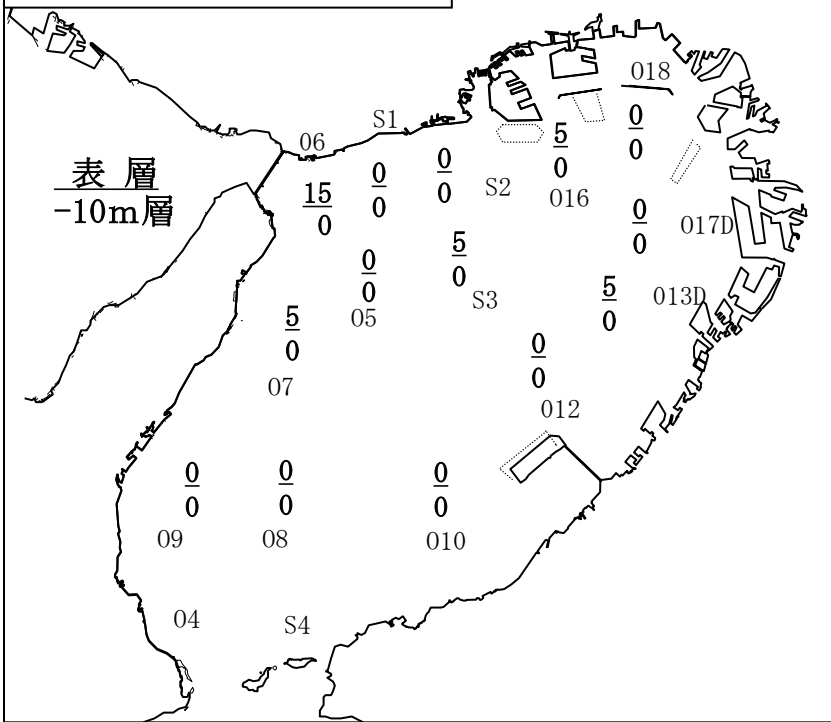
塩分 (表層、-10m層)



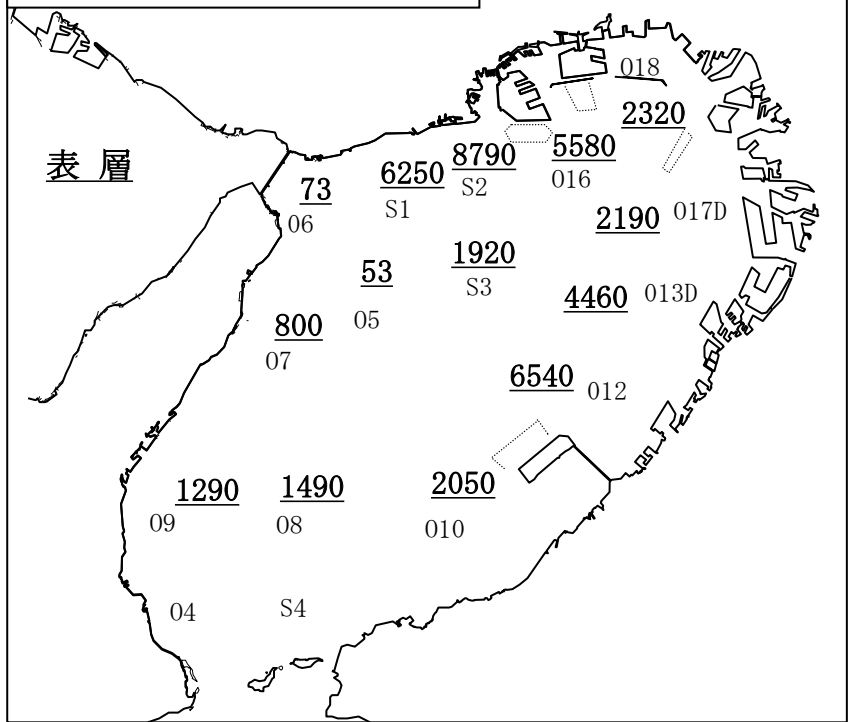
リン濃度 (表層、-10m層)



コシノディスカス (細胞/L)



スケルトネマ (細胞/ml)



ユーカンピア (細胞/ml)

